

研究助成金交付申請書 記載要領

令和元年 7月 1日

用紙サイズは A4、印刷は片面印刷で提出してください。
両面印刷の場合、裏写りして文字が見えない場合があります。
コピーして、審査に使用します。

公益財団法人人工知能研究振興財団

理事長 内藤 弘康 様

公的に使用できる印鑑で押印してください

法人名・その他研究機関名を記入してください

法人・その他研究機関の代表者の役職・氏名を記入してください

所属法人等の所在地を都道府県から記入してください

申請者

名 称 △△株式会社
代表取締役社長

代表者名 人 工美子

所 在 地 〒〇〇〇-〇〇
〇〇県〇〇市〇〇区〇〇

(電話番号) 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

(F A X 番号) 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇



研究助成金交付申請書

法人代表者について記入してください。
所在地は本社・本部の所在地を記入してください。

公益財団法人人工知能研究振興財団研究助成規程第7条第2項の規定に基づき、下記のとおり研究助成金の交付を申請します。

記

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 研 究 テ ー マ | 〇〇の研究 |
| 2. 研 究 費 総 額 | 金 3, 0 0 0 千円 |
| 3. 研 究 助 成 金 要 望 額 | 金 1, 0 0 0 千円 |
| 4. 研 究 者 代 表 役 職 ・ 氏 名 | 主任研究員 研 究太郎 |

助成研究実施計画書

1. 申請者の概要及び研究組織 (パンフレット等の添付によって、概要に替えることができます。)

- (1) 資本金 100,000千円
- (2) 従業員 2,000人 (研究開発従事者 50人)
- (3) 事業内容 (主な事業及び主たる生産品目を記載してください。)

〇〇の開発・製造・販売

- (4) 研究組織 開発本部－基礎技術部
 - －応用技術部－〇〇研究G
 - －△△研究G
 - －◇◇研究G

所在地は都道府県から記入してください。
TEL・FAX・E-mailは通知・問合せ等に使用
します。必ず、本人に連絡の取れる所属連絡
先を記入してください。
(表紙研究代表者と同じ)

2. 研究者代表の氏名並びに略歴

- (1) 研究者所属 △△株式会社開発本部応用技術部〇〇研究G
- (2) 所属所在地 〒〇〇〇-〇〇 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇
- (3) 役職・氏名 主任研究員 研究太郎
(電話番号) 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (FAX番号) 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
(E-mail) 〇〇〇@〇〇.〇〇.〇〇

(4) 同略歴

項目	年	月	
最終学歴	2000	3	〇〇大学 大学院 工学研究科 博士課程修了 (工学博士)
職歴	2000	4	△△株式会社入社 開発本部基礎技術部〇〇研究員
	005	4	同 開発本部基礎技術部〇〇主任研究員
	2010	4	同 開発本部応用技術部〇〇主任研究員
業績			本申請に関連する直近5年以内の業績を、共同研究者の業績も併せて、別葉 (A4版3枚まで) にお書きください。

必要に応じ、枠を増減してください

3. 共同研究者 (全員お書きください)

必要に応じ枠を増減しすべての共同研究者を記入してください。記入の無い共同研究者への支出は認められません。

氏名	所属・役職	役割
人工 花子	△△株式会社 開発本部 基礎技術部 研究員	〇〇〇の分析・実施
知能 一郎	〇〇大学〇〇学部 講師	〇〇〇の評価・解析

4. 研究の開始年月日及び完了予定年月日 (開始日には令和2年1月1日以降の年月日を記入してください。)

開始 令和 2年 4月 1日 ~ 完了予定 令和 4年 3月 15日

5. 実施場所（2か所以上ある場合は、全ての場所を記載してください。）

(1) 主たる実施場所

〇〇大学〇〇研究室

実施場所は、施設名・所在地・住所等を記入してください

所在地 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇〇〇番地 〇〇号館（〇〇キャンパス）

(2) その他の場所

〇〇株式会社 〇〇研究所

所在地 〇〇県〇〇市 〇〇工場内

6. 研究の目的・目標及び期待される効果（1頁以内）

（明朝体10.5ポイント以上で記入してください。図表等の挿入可ですが、ページサイズの変更はしないでください。モノクロで作成してください。※10.5ポイントで1,600文字程度）

(1) 研究の目的・目標

ページ先頭となるように改ページを行ってください

図表等を挿入した場合、文字数が減ります。
審査はモノクロのコピーで行われます。

余白・枠位置・用紙のサイズ等の変更はしないでください

(2) 期待される効果

位置変更可

7. 研究の内容及び方法（2頁以内）

（文字サイズ・図表等については6.と同様です。※10.5ポイントで3,400文字程度）

(1/2)

余白・枠位置・用紙のサイズ等の変更はしないでください

余白・枠位置・用紙のサイズ等の変更はしないでください

8. 研究の資金計画

摘要には、会社開発費、科研費、他財団助成、大学研究助成費等の入金先資金名を記入してください。※他団体等の助成金受け取り予定等も含む

収入の部

項目	金額(千円)	摘要
助成金要望額	1,000	
自己負担額	1,000	会社負担(開発費)
その他	1,000	文部科学省 科学研究補助金(2019年度受領見込み)
合計	3,000	

必要に応じ、枠高さを増減してください

支出の部 (経費区分のサイズは適宜変更してください)

必要に応じ、枠高さを増減してください

経費区分	種別(注1)	仕様(注2)	単位(注3)	数量	単価(千円)	合計(千円)	備考
①機械装置費(注4)	解析用パソコン	コア4ノート	台	2	200	400	購入
	実験用パソコン	〇〇precision〇〇	台	1	400	400	購入
	サーバー使用費	4テラバイト	月	20	10	200	レンタル
②外部委託費	解析ソフト作成費	〇〇解析 〇〇出力等	人日	50	20	1,000	◇◇(株)
③材料費							
④図書購入費							
⑤旅費	学会参加	旅費(〇〇-東京)	回	2	15	100	研究太郎
		宿泊費(2泊3日) 参加費			23 12		
⑥技術指導費	解析ソフト操作指導費	編集方法等	日	4	50	200	◇◇(株)
⑦その他経費	被験者謝金 GPU計算機利用料	〇〇実験参加	人x時間	200	2	400	
		〇〇クラウド計算環境	月	3	100	300	
合計						3,000	

学会年会費・懇親会費は助成の対象となりません

特別料金は助成の対象となりません

研究費総額と一致してきていることを確認してください

(注1) 種別とは、機械装置名、材料名等、それぞれの品名等をいいます。

(注2) 仕様とは、それぞれの形式、性能、構造等をいいます。

(注3) 単位とは、それぞれの物の算出単位をいい、kg、個、缶、台、件、時間等をいいます。

(注4) 機械装置については、購入、製作、改造又は借用の別を備考欄に記入してください。

9. 研究助成金使用予定

摘要には、経費区分、種別及び補足を記入してください

年度別半期別		金額 (千円)	摘 要
令和元年度 (R2. 1~3月)		200	機械装置費:解析用パソコン(1台)
令和2年度	前 期 (4~9月)	400 200	機械装置費:実験用パソコン 機械装置費:解析用パソコン(1台)
	後 期 (10~3月)		必要に応じ、枠高さを増減してください
令和3年度	前 期 (4~9月)		
	後 期 (10~3月)	200	その他経費:GPU計算機利用料の一部(2ヶ月分)
合 計		1,000	助成金要望額と一致していることを確認してください。